

教会からのオススメの一冊

「わたしの信仰」～キリスト者として行動する～

アンゲラ・メルケル 著/フォルカー・レージング 編/松永美穂 訳
(新教出版社発行)

人が心に堅く抱くもの、特に信仰や信念は、その人の語る言葉の中に表れてくるものです。

昨年未だに発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中へと広がり、各国が対応を迫られました。ヨーロッパでは、当初からその対応力をひときわ評価された国がありました。メルケル首相率いるドイツです。

今回で紹介する「わたしの信仰」は、2017年に出版されたメルケル首相のスピーチ集の翻訳です。牧師の娘として生まれ、東ドイツの社会主義体制下で青年期を過ごし、35歳で東西ドイツ統一を経験したメルケル氏は、公人となってからも、あまり自身の信仰について語ることはなかったといえます。しかし、本書に収められているスピーチには、彼女のキリスト

としての立場がはっきりと表され、このアイデンティティのもとに彼女は物事を考え、判断し、政治に携わっているのだ、ということが伺えます。本書が書かれたのは、ヨーロッパ諸国がイスラム難民の問題に直面していた頃です。この難題に際してメルケル氏がとった対応も、キリスト信仰に基づいたものでした。どんな難題の中にあっても、揺るがされない姿勢を貫くことができる秘訣は、彼女のキリストを信じる信仰なのです。信仰こそ、真の強さなのです。

今回のコロナ禍にあっても、彼女の立場は揺らいでいません。今はまた、事態が悪くなる一方で、ドイツでも感染者数が増えている報道がなされています。それでも、彼女の信仰がこれからも貫かれ、信仰の強さを世界が知ることができるようにと願います。



見えるようにしてください

イエス・キリストが道を歩いておられたとき、道端から急に「ダビデの子のイエス様、私をあわれんでください」と叫ぶ声がありました。声の主はバルティマイ。彼は生まれながら目が見えない人で、毎日道端にすわって物乞いをしていました。自分の前を通るのがキリストだとわかると、もう居ても立ってもおれず、「ダビデの子のイエス様…」と叫び出したのです。

人々は彼を黙らせようとしたが、彼は黙るどころか、ますます大声で叫び続けました。ついにその声がキリストに届き、キリストは彼を呼ばれ、「わたしに何をしてほしいのですか」と尋ねられました。彼は躊躇(ちゆうちよ)なく、「先生、目が見えるようにしてください」と答えました。するとキリストは、「あなたの信仰があなたを救いました」と言われ、彼の目が見えるようにされました。彼は大喜びでキリストに従って行きました。

新約聖書マルコの福音書10章に出てくるこのお話は、私たちに何を教えているでしょ

うか。第一に、私たちは目が見えない者だということです。罪のために魂の目が閉ざされて、天地を創造され、私たちを愛して下さる神様がわからないのです。

第二に、私たちがほんとうに求めなければならないのは、その魂の目が開かれることです。何を求めるにもまさって、「目が見えるようにしてください」と神様に求めていくべきです。

第三に、目を開いて下さるキリストを信じることです。キリストは私たちの罪のために、十字架にかかって死なれました。このキリストの十字架を信じるなら、罪が赦され、魂の目が見えるようになります。まことの神様がわかり、生きる目的がわかり、真の喜びと平安にあふれた人生が、開かれてきます。

あなたもバルティマイのように、キリストに「目が見えるようにしてください」と求め、魂の目が開かれた者にしていただきませんか。あなたの人生は変わります。

教会のひとこま 収穫の喜び

毎年秋になると、教会の庭に植えられたぶどうの収穫が行われます。夏前から栄養が実に行き渡るように、枝や葉を剪定していきます。

実ができてからは、病害虫などから守るために果実袋をかけたり、カラス避けのためにネットを被せたりしていきます。このように手間暇かけながら、実が大きく甘くなるのを待ちます。

収穫された実は、聖餐式のぶどう汁として教会員みんなにいただきます。



教会のクリスマス

クリスマス礼拝

12/20 (日) ① 9:30am ② 11:00am

礼拝堂で行います。どなたでもお越しください。

ベアンテ・ポーマン チェロコンサート

12/24 (木) 6:30pm 【無観客ライブ配信】

コンサートは、教会ホームページからご覧いただけます。

Gloryカレンダー発売

Gloryのエッセーと写真とともに、2021年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますように。一部1,000円です。購入をご希望の方はご連絡ください。



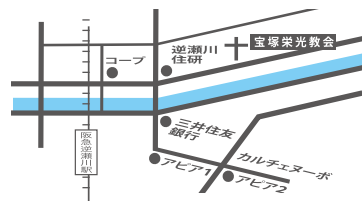
*写真は昨年のカレンダーです。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com



教会HP

礼拝動画

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30~10:40

第二部 11:00~12:10



「綿の花 ― コットンフラワー ―」

まっ白で ふわふわの綿の花に魅かれて 種を播いた
小さな苗が育っていくのは 楽しみで 目が離せなかった
つぼみがついて やがて 花が咲く姿を見る喜びは ひとしおだ
淡い黄色の花は オクラの花を連想させた
ハイビスカスや フヨウの花のように 開いていくのだ

花は 一日で萎んでしまい ポトリと落ちた
花の後 ツンと尖った 丸い実をつける
この実がふくらんでいき やがて はじけるように
中から ふかふかした綿毛が出てくる
まるで 白い花のように見える
それで 綿花(メンカ)と呼ばれるそうだ
コットンボールとも呼ばれる
感動して 長い間 指先で綿の感触を味わった
これが タオルや服の元の繊維になるのか
種は 白い綿に包まれるようにしていた
この種は 綿実油になるそうだ

コットンボールを 枝のまま 収穫しよう
そして ドライフラワーにしよう
それをクリスマスの飾りに使おうと 楽しみがふくらんでいく

神は言われた 「地は草を芽生えさせよ
種を持つ草と それぞれの種を持つ実をつける果樹を
地に芽生えさせよ」 そのようになった

創世記1章(聖書)